

令和元年度第2回狭山市男女共同参画審議会 議事録

開催日時：令和元年11月25日（月）午後6時00分～8時00分

開催場所：狭山市役所 603会議室

出席委員：齋藤委員、笹原委員、豊島委員、高橋委員、町田委員、小島委員、宮岡委員、
山谷委員、千葉委員、金野委員

傍聴者：1人

事務局：小出市民部長、田中市民部次長兼市民文化課長、
杉山男女共同参画センター所長、松山同主査

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題

(1) 令和2年度男女共同参画に関する市民意識調査について

ア) 令和2年度男女共同参画に関する市民意識調査の概要
(事務局より資料1・参考資料①・参考資料②について説明)

〈質疑応答・意見〉

委員 前回の27年度調査の回収率についてお聞きする。年齢別の回収率は出ているか。

事務局 前回調査は20代・30代など10才刻みになるが、回収率は出ている。女性と男性とで回収率が異なる。多い順にすると、女性は50代・40代・30代の順であり、男性は50代・60代・40代の順である。全体の回収率は、47.5パーセントである。

委員 通常、回収率は50パーセント前後かと思うが、令和2年度の調査に向けて回収率を上げていくために何か考えていくのか。それとも50パーセントで良いと考えているのか。

事務局 有効な回答として50パーセントを目途にしているが、狭山市の人口からすると回収率が40パーセントから50パーセントの間でも、統計上、妥当であると確認している。今回も2000人で調査を実施し、督促状も送付する。

委員 調査をする前に、市民意識を上げる方策をして、PRする方策を。50パーセントを切る数字は、満足できる数字ではない。

事務局 市民にいかにして男女共同参画に興味を持ってもらうか工夫していきたい。毎年6月には男女共同参画週間の事業を行うので、その際にPRするなど考えられると思う。

委員 市広報にも調査の実施はPRすると思うが、SNSでも周知していくと良い。

イ) 前回調査（平成 27 年度）の調査項目との変更点について
（事務局より資料 2 について説明）

…関連する「ウ）市民意識調査（案）」と併せて、質疑応答・意見…

ウ) 市民意識調査（案）について
（事務局より資料 3・参考資料③について説明）

〈質疑応答・意見〉

委員 質問ごとに、「すべて選び」「1つ選び」「3つ選び」など回答数が異なるが、数の違いは何か基準があるのか。防災については1つ選ぶことになっているが、1つだけ選ぶのは難しいのではないか。

事務局 防災は新規項目でもあり、委員の意見により回答数を増やした方が良いとのことであれば、変更も検討したい。経年比較をしている質問は、回答数を変えると比較できないため、変更は難しい。

委員 避難所への避難では、性的少数者の問題もあるなど、回答が1つだけに絞るのは難しいと思う。

事務局 今後の基礎資料とするための調査であるので、詳細を知るために複数回答が良いということであれば、検討していく。

委員 この調査の対象である市民には外国人も入るのか。市内にも約 2500 人の外国人の方がいるはずだが、その方たちも意識しての調査をするのか。

事務局 調査対象の市民には、外国人も含まれる。前回の調査も抽出した中には外国人も含まれている。ただし、調査票の英語版の作成などは予定していない。

委員 今回、新規に加えた防災の関係でも、外国人は避難や防災に関してよくわからないなどの問題もあると思う。そのようなことを施策に反映していくためには、外国人向けの通知文なども必要ではないか。

事務局 市内には 61 カ国の外国人の方がおり、対象者として抽出されることは当然考えられる。市でもゴミの収集カレンダーを多言語化するなど、外国人の方に理解のために取り組んでおり、今回調査も抽出された外国人の方に個別対応を取るか、内容が不明な場合に連絡を貰うなど、対応の方法はこれから考えるが、検討はしていきたい。
また、防災については回答項目が 6 つしかないので、できたら項目を 9 項目くらいに増やして、複数回答にしていきたい。

委員 外国人への対応では、すべての内容を英語などにしなくても、かんたんな日本語であれば、外国人の多くは理解できると聞く。例えば「避難」

は「にげる」、「津波」は「大きな波がきます」など言いかえると理解できるとのことなので、この調査票には漢字が多いが、かんたんな日本語にするなどの方法も考えられると思う。

事務局 市でも、母国語だけでなく「やさしい日本語」の検討も話題に上がっている。検討していきたい。

委員 資料2の質問と、資料3の質問の番号が一致してないようだが、これはなぜか。

事務局 資料2は、前回の調査項目と質問の番号を載せているため、9個の調査項目・23問の質問番号だが、資料3の令和2年度の調査票（案）では新規の調査項目・質問が含まれるため10個の調査項目・26問の質問になり番号が異なっている。また、質問の順番も若干変更した。

委員 防災の回答項目はできれば増やしてもらうのが良いが、このままの内容でも、例えば台東区であったホームレスの人の問題など、別の考えがある人は「8.その他具体的に」に記入してくれるのではないかとも思う。

委員 今回の大型台風では、私自身とても心配で、子どもを守るためにも色々準備をしていたが、配偶者は特に何も準備する感じもなかった。家の中でも、全く捉え方が違うと感じる。

委員 捉え方の違いなどを把握するために、調査によっては設問に年代など限定して回答してもらうものがあるが、今回は対象者全員が全ての質問に回答でよいか。

事務局 回答は、男女別や年代別などをクロス集計する予定であり、男女の差や、年代ごとの違いなどもデータとして集計できる。今回は回答者の年齢を5才刻みにする予定なので、より細かいデータも取れると思う。

委員 問16の性的少数者の回答に、更衣室やトイレなどの表記があるが、「誰でもトイレ」など具体的な表記にしないのか。

事務局 この問の回答として考えられるのは、1つは、誰でもトイレを増やすなど具体的にあげる形式と、もう1つは、男女がはっきり区別されている例として、更衣室やトイレなどを挙げ、そのようなものをどうしていくのが良いかと意味を含むものが考えられる。表記を追加するかどうかは検討する。

委員 調査項目の人権・DVとあるが、人権といっても質問の内容はセクハラ、DV、性的少数者の3つだけだが、この3つだけで人権と言えるのか。前回調査も同様で、人権としていたのか。

事務局 前回調査の質問も、新規の問以外は同様だが「人権について」としていた。人権というと幅広いが、男女のプランでは「基本方針1 施策3 人

権としての性の尊重」(参考資料③)ということに焦点を当てて捉えている。

委員 調査項目に「人権・DVについて」とあるが、DV だけだとドメスティックバイオレンスの略だと知らない人もいないのではないか。また、問15の質問にはドメスティックバイオレンスとあるが、DVの表記がない。DV(ドメスティックバイオレンス)との表記を統一して、最初に説明を加える必要があると思う。

事務局 表記は統一し、説明も加えて精査する。

委員 セクハラでもあり、パワハラでもあるケースもあると思うが、パワハラは加えないのか。

事務局 管理職など、一般的にはまだまだ男性上司が多いということからすると、パワハラという側面も男女の差が出てくるなど、基礎資料となる可能性はあると思う。第5次の計画ですぐに反映させられるか別としても、分析を深めるため考えたい。

委員 問10の質問だが、このような質問をすること自体が今の時代、女性に対して失礼な感じもするが必要なのか。

会長 過去の調査と比較して、女性が職業につくことへの意識が変化していると期待している。また、そのことを確認するためにも、設問自体は必要かと思う。

委員 自分が子育てをしていた頃は「子どもは3才までは家庭の中で母親が育てる」のが普通と言われていた。今の若い世代と自分たち以上の年代では、きっとまだ意識の差があると思う。

委員 市の男女共同参画室が設置された当時からは、だいぶ意識も変わったと思うが、それでも女性が職業につくことを反対する人もまだいる。そこを変えるための施策が必要であることなど、この質問の結果を施策に活かすためにも残しておいた方がよい。

委員 問7の質問で、子どもが少なくなっている理由の回答に、「子どもが欲しいが、できない」も加えた方がよいのではないかと。そのような思いをしている人に「9. その他(具体的に)」に自ら書かせるのも酷なので、○をすることで良いように選択肢を作っておく配慮も必要なのでは。

事務局 回答項目に加えるかたちで検討する。

会長 問25は「男女共同参画センターを知っている・知らない」の問だが、質問の前段に「男女共同参画センターは○○などを行っていますが～」などセンターの役割について説明を加えた方がよいのではないかと。

- 事務局 問26の回答内容の後に、男女共同参画センターについて説明をしている内容（※印部分）を質問に加えるなどして修正する。
- 委員 要望だが、自由記述欄に記入された内容は、市民の方の本音の部分が記載されていると思うので、ぜひ公表していただきたい。
- 事務局 前回調査も、報告書・市ホームページでも公表している。今回の調査についても同様に公表する。
- 委員 問6の質問は、現時点の状況について回答ということで良いか。その場合は問18のように「現在」と入れるなど明確になるように表現した方が良い。
- 会長 本日の会議以降でも、もし意見がある場合は、事務局へ伝えることで良いか。
- 事務局 今年度は令和2年2月に3回目の審議会を予定しており、委員の意見をもとに調査票の内容を修正したものを提示させていただき、年度末には調査票の内容を固めたいと考えている。意見等については12月末までに事務局あてに電話、メール等をお願いしたい。

以上

4 閉会